

5月の行事予定



ESDって... 知っていますか?

校長 武市 俊彦

ESD は Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。

今、世界には気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等人類の開発活動に起因する様々な問題があります。ESD とは、これらの現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動です。つまり、ESD は持続可能な社会の創り手を育む教育です。(文部科学省HPより)

学習指導要領にもESDに関連する記述があります。第1章総則には、「...豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、平和で民主的な国家及び社会の形成者として、公共の精神を尊び、社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人の育成に資することとなるよう...」とあります。

つまり、教育において、子どもたちに、持続可能な社会の実現をめざすSDGsの視点を持たせ、激しい変化が起こるであろう将来においても一人一人が幸福な人生を生きるために必要となる「柔軟に生きていく力(生きる力)」を育てていかなければならないということが求められているということになります。

日本のSDGs認知度ランキングは、28位(28カ国を調査)で、聞いたことがある(49%)よく知っている(8%)となっています。世界平均よりも聞いたことがあるでは25%も低い結果です。日本で達成度が低い



目標は、5(ジェンダー平等を実現しよう)12(つくる責任つかう責任)13(気候変動に具体的な対策を)17(パートナーシップで目標を達成しよう)となっています。

尼崎市では令和3年3月、～誰もが「自分らしく」～というサブタイトルの冊子を発行しています。性の多様性への理解を深めるためのサポートブックです。本校では、混合名簿の使用に加えて、「くん」「さん」ではなく、全ての児童を「さん」づけで呼ぶことにしています。男だから、女だから、ではなく誰もが自分らしく過ごすことを大切に、自らの可能性を信じ、チャレンジしてほしいという願いを込めています。

いいところ見つけた! (学校生活の中で見つけた子ども達の良いところを紹介します。)



武庫北の子ども達は、朝の「おはようございます」、校舎内ですれちがった時の「こんにちは」、お礼を言う時の「ありがとうございました」など、本当に気持ちの良い挨拶ができています。明るく、笑顔で挨拶をされると心が和み、気持ち良くなります。武庫北っ子のいいとこ、まずは「挨拶」ですね。(教頭先生)



月	火	水	木	金	土	日
3	4	5	6	7	8	9
憲法記念日	みどりの日	こどもの日	視力検査(4年)	家庭訪問 視力検査(3年)		
10	11	12	13	14	15	16
朝礼 家庭訪問 視力検査(2年)	家庭訪問 視力検査(1年)	家庭訪問 視力検査(くすのぎ)	校外児童会 視力検査(欠席者)	内科検診(5年)		
17	18	19	20	21	22	23
眼科検診(全学年)	火災避難訓練	耳鼻科検診 (くすのぎ・1・2年) 火災避難訓練(予備日)	聴力検査(5年) 口座引き落とし日 (4、5月分)	聴力検査(3年)		
24	25	26	27	28	29	30
耳鼻科検診 (5、6年)	聴力検査(2年) 放課後学習	尿検査 (2次検査・未提出者)	聴力検査(1年) 全国学力調査(6年)	聴力検査(くすのぎ) 放課後学習		
31				6月の予定 ・16日(水) 1、2年生引き渡し訓練(5校時) ・21日(月) プール開き		
耳鼻科検診 (3、4年)						

【5・6年生の兵庫型教科担任制・新学習システムについて】

文部科学省の中央教育審議会は、昨年度末、2022年度をめぐり小学校高学年に教科担任制を本格導入することなどを盛り込んだ答申をまとめました。その柱の一つは、小学校の教科担任制です。小学校では通常、学級担任がほぼ全教科を教える「学級担任制」ですが、「きめ細かな指導が可能になり、授業の質が向上する」とし、教科ごとに専門性を持った教員が教える「教科担任制」を5、6年生から導入する方針を固めました。

兵庫県では既に、全県で小学校高学年において教科担任制と少人数学習団の編成を組み合わせた「兵庫型教科担任制」を推進しております。具体的には中学校のような全教科にわたる教科担任制ではなく、教科を限定した教科担任制です。この制度により

- 教師と児童との人間関係や学習経験の広がりによる子どもの成長が図られる。
- 教師の多面的な児童理解による、組織的な指導の充実が図られる。
- 中学校(完全教科担任制)への橋渡しが図られる。等の成果があると報告されています。

本校も5・6年生で、社会・理科の教科で取り組んでいます。同時に新学習システムは、5・6年生の算数科で、少人数学習団指導で子どもたちの学習を進め深めます。本年度は杉本律子先生が担当しています。

